

情報公開文書（オプトアウト）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。この研究に関してご自分のデータが利用されることを希望しない場合は拒否することができますため、いつでもお問い合わせください。

【四日市糖尿病クリニック（研究代表機関）の連絡先・相談窓口】

〒510-0829 三重県四日市市城西町15-37

電話番号：059-328-4109

責任者：四日市糖尿病クリニック理事長 水林竜一

【研究課題名】 受診時に低血糖を発症した患者様の背景調査をしてわかったこと

【研究の実施体制】

研究責任者：四日市糖尿病クリニック 看護部 看護師 船引理絵

研究分担者：四日市糖尿病クリニック 看護部 看護師 緑恵 データ収集、分析

四日市糖尿病クリニック 看護部 看護師 関根智子 データ収集、分析

【はじめに】

糖尿病治療を行う患者の低血糖は生活の質に影響を与え、特に高齢者においてはより深刻な結果をもたらす可能性があることが報告されている。糖尿病専門外来であるAクリニックでも採血結果で患者の低血糖が発見されることが多々ある。これらの患者に対して、その低血糖の原因の聞き取りをしたところ、重症低血糖が危惧される薬剤（血糖非依存性インスリン分泌促進系の血糖降下薬、インスリン製剤）の使用患者（以降、低血糖薬剤使用患者とする）と低血糖薬剤未使用患者によって低血糖の原因が違う事に気づいた。本研究は、その低血糖の原因を聞き取りした内容や患者データを分析することで個々の患者に合わせた患者指導に役立てることを目的とする。

【研究方法】

1、対象者：

糖尿病専門外来であるAクリニックに通院中の患者で、2023年11月1日から2024年10月31日の期間に外来受診時の採血結果で低血糖（70 mg/dl未満の血糖値、80 mg/dl未満でも症状が伴うとき）が確認された患者。

2、調査方法および調査内容：

1. 外来受診時の採血結果で低血糖が確認された患者に対して、7項目の聞き取り（①低血糖症状や自覚症状、②直前の食事時間と内容、③補食携帯の有無、④現在と過去の低血糖に対する知識、⑤低血糖教育状況、⑥薬剤の使用状況、⑦交通手段と運転時間）と8項目の患者データ（①血糖値、②使用薬剤の情報、③性別、④年齢、⑤糖尿病型、⑥罹病歴、⑦合併症、⑧HbA1c）

- をカルテより抽出する。
- 2.得られたデータを対象者の薬物治療内容を低血糖薬剤使用患者と低血糖薬剤未使用患者に分けて、後向きに解析する。
 - 3.結果を統計分析する。

3、研究期間：

2023年11月1日から2026年3月31日まで

4、倫理的配慮：

研究についての概要をクリニック内とクリニックのホームページに掲示し、参加を希望しない場合は拒否する権利があることを明記するオプトアウト形式で参加の同意を得る。

【結果】

分析中